

中期実行計画全体に対する意見

分類（出所）	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ （メール）	1	中期全体	—	別体系に整理し変えておられるようですが、障害者就労を雇用対策の所のみに限定されているのは、頷けません。 宇部市のきらめき☆ワークステーション（障害者就労ワークステーション）や常盤公園での障害者就労支援事業、宇部市障害者就労支援ネットワーク会議等、地域ブランドとしてある程度の実績ができていないのでしょうか。 地域ブランドというものを産業力強化・雇用対策の云う括りに入れておられますが、当初計画の夢から逸れているのではないのでしょうか。ブランドは産業のみではないと理解しています。	
パブコメ （意見交換会）	2	中期全体	—	体系図から【まちづくり共通基盤】を削除する。（19p） ・17p 3「施策体系と具体的な取り組み」の【中期実行計画の取り組みの方向性】と矛盾する。 ・【まちづくり共通基盤】に記載されていることは、17p 2「進行管理」に書き込めばよい。	前期実行計画では、第四次宇部市総合計画基本構想で掲げた「環境」、「安心」、「健康」、「市民力」、「地域ブランド」の5つのキーワードとそれらを支える「まちづくりの共通基盤」により各取組を進めてきました。 中期実行計画では、今後4年間のまちづくりの方向性を分かり易く明確にするため、「地域経済の活性化」、「健康で心豊かなまちづくり」、「安心・安全なまちづくり」の3つの柱を中心として、各取組を新しく分類・整理していますが、基本構想で掲げたキーワード等の関連については、各項目毎に明記しています。
意見交換会 （3回目）	3	中期全体	—	施策体系を考え直したほうがいいのでは。 環境、観光、健康などをテーマに市民感覚を取り入れながら、また、プロジェクトチームを結成するなど市民と協働したまちづくりを進めてはどうか。	中期実行計画においても引き続き基本構想で掲げたキーワードを踏まえ、組織間連携を図りながら、横断的な取組を進め、事業効果を高めていきます。 なお、「まちづくりの共通基盤」に掲げた取組は、各施策を展開していくための重要な要素であることから、前期実行計画同様、施策体系の一つとして組み込んだものです。
パブコメ （意見交換会）	4	中期全体	—	宇部市100周年に向け、テーマ（環境、観光、健康）で安心の街づくりで、各部でプロジェクトチームを作って、実行・実践する。	
パブコメ （意見交換会）	5	中期全体	—	（1）市制100周年を記念する施策として、理念・都市像および目標を掲げる。 （2）理念・都市像は中期実行計画（案）のP1～2とする。 （3）構成は、基本計画が理念・都市像・目標（人口、生産額、財政収支等）とし、実行計画（アクションプラン）が中期実行計画（案）のP18～19とする。 （4）計画期間は、中期実行計画（案）のP3と同じとする。 （5）中期実行計画（案）のP18の「取組の方向性」低炭素まちづくりは、二つに分けて【地域経済の活性化】に新環境産業の取組みの題目で・再生可能エネルギー導入促進対策、・環境ビジネスの創出、を入れ、残りをエコシティの創出の題目で【健康で心豊かなまちづくり】に入れる。	中期実行計画は、前期実行計画同様、基本構想に示される「まちづくりの目標」に向けた主要施策と数値目標を明らかにするものとして構成します。 低炭素まちづくりは、地域経済の活性化につながる重要な課題であり、様々な観点から進めていくことが重要であると考え、関連する施策を可能な限り集約することとしました。

中期実行計画全体に対する意見

分類（出所）	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ （意見交換会）	6	中期全体	—	<p>18日の配布資料、説明で、2014年から始まる中期実行計画で、宇部市が何をやって行くこと（事項）については、理解出来ました。</p> <p>しかし、計画で大事なことは、計画したことを「何時までに、如何に実行していくか」と言うことであり、それには、実行を担保する資源（組織、人材、資金＝予算）の配分が不可欠になります。これが一体となったものが計画だと思います。そうでないと計画の妥当性、優先順位の評価は出来ません。又、計画期間終了後の達成度合いの評価も出来ません。（計画の項目自体は達成出来たととしても、それが当初の計画を上回る費用、期間を要しての達成だとすれば、達成度評価は大きく減点されねばなりません。この評価尺度としての、期間、費用の事前設定は不可欠です）。18日の配布資料、説明では、それについての記述、説明がなされませんでしたので、計画項目の機械的な説明に終わった感がしました。</p> <p>中期計画のベースになる「総合計画」は、12年と言う非常に長いスパンであり、環境等、不確定要素が多いので、そこまでの事前設定を行うのは難しく、理念と言うか、ビジョンに近いものにならざるを得ないと思います。しかし、中期計画は、期間が限定されており、又、「実行計画」と銘打っている以上、それが必要だと思います。</p> <p>これについて、18日の日資料、説明は、市長が何度も言われたように、あくまで、「概要」なので、（裏付は策定されているが）、時間的なこともあり、そこまでの記載、説明は避けられたのか、あるいは、そうした裏付けは短期計画である年度計画のみに行い、策ずれなのでしょうか。行なわない、の何れなのでしょうか。</p>	<p>今回の配布資料は「中期実行計画（案）」の概要版であり、「中期実行計画」本文には、施策ごとの取組内容や、目標指標として成果指標や目標値を明記しています。</p> <p>また、中期実行計画の目標に対する年度ごとの取組内容や、事業の進捗、投入資源（人的資源・経費）等は、毎年度作成している「部・課方針書」や「事業台帳」により確認することができます。（「部・課方針書」は、市ホームページで公開しています。）</p>
パブコメ （意見交換会）	7	中期全体	—	<p>この中期実行計画は、2014年度から4年間の計画ですから、短期計画である「2014年度計画」は、当然、上位計画である、この中期実行計画に基づいて策定される筈です。しかし、中期計画の確定を待っている、それでは4月から始まる「2014年度計画」の策定は、時間的に、到底、間に合いませんので、実際には、既に具体案が策定されていると思います。</p> <p>現に宇部日報の市長の新春インタビューで、市長は2014年度の宇部市をどうして行くか、詳しく述べておられますが、これは、2014年度計画に基づいてお話されているのだと思います。又、これを実行して行くための2014年度予算年度編成案が昨年11月には発表されております。これからして、短期予算としての2014年度計画案は策定されているのだと思います。</p>	
意見交換会 （1回目）	8	中期全体	—	<p>目標が正しく設定されたとしても、本当に実行できる裏づけ、人やお金等の実効性を担保するものはありますか。</p>	
パブコメ （意見交換会）	9	中期全体	—	<p>市施策として効率化（スリム化）していく分野と拡充していく分野、国庫事業として事業導入するものと、単市事業として活用できるものが混在しているので、市民目線からの計画としては捉えにくいというのが総論。</p> <p>中期実行計画は「誰が」実行すべき計画なのか、市役所の縦割の計画づくりの色が強すぎるのかな。</p>	

中期実行計画全体に対する意見

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ (意見交換会)	10	中期全体	—	このことは、現実問題として、やむを得ないことだと思いますが、折角、久保田市長が、常々、お話されているように、「市民の意見を聞いて、それも参考にして、市の施策を作っていく」との姿勢に立てば、もっと早めに意見交換会を持ち、それを参考に、先ず中期実行計画をきちんと固めておくべきだと思います。その上で、中期実行計画に基づく4年間で俯瞰した上で、「2014年度計画」を策定するのが、本来の中期計画のあり方だと思います。後期実行計画の策定はもっと早くにすべきだと思います。	市民意識調査や学生アンケート等の意見を反映しながら、中期実行計画(案)を策定し、今回、パブリックコメントの一環として意見交換会を開催したところです。 いただいたご意見は、後期実行計画の策定手法を検討する際に、参考にさせていただきます。
パブコメ (意見交換会)	11	中期全体	—	私は、18日の席上、本テーマに関する事として、「アベノミクスの第三の矢(成長戦略)の目玉である「国家戦略特区法」と連動して行うべきとの意見を述べました。これについては、久保田市長から、具体的、詳細なご説明があり、理解、納得しました。	—
パブコメ (意見交換会)	12	中期全体	—	平成26年1月18日(土)10時から開催されました「市民との意見交換会」に参加させて頂きました。市民の方々から様々なご意見が発言され、意義のある交換会であったと認識しております。特に、前期実行計画の検証では、行財政改革と新規事業の進捗状況には十分期待に添えるものと思いました。また、市民の発言の中でも、大変有意義なご提言もありました。例えば、『市の様々な事業をクリエイトする側と市民との間をつなげる「サービス提供力」を持った人材の育成が急務である』事、等、「市民力」の更なる底上げには、行政の考え抜かれた事業の執行に際し、いかに参画意識を高めるか、また、そこに市民の力をいかに結集させることができるのか、が大事なポイントになるのではないかと思います。 残念なことは、個別の課題に関する発言もあり、むしろ、「市民」として4年後の「宇部市」をイメージできる議論に深めていただきかったことです。 例えば、4年後も、今の少子高齢化の荒波を蛇行しながら、必然的に訪れる人口15万都市での高齢者が中心の洗練された町のイメージを目指すのか、それとも市役所の新築を意図する議論の中で、中核都市機能を維持するための広域化(含む連携)に移行し、若年層の幅広い人材が育つ町を目指すのか、等、「市民」として、この判断を求められる大事な4年間であることを認識させ、この中期実行計画を意義あるものとして情宣(議会、議員の役割)し、実行することを期待したいと考えます。	これからも、まちのあり方や、市政運営の方向性等をしっかりと定めながら、中期実行計画の各施策を進めていきます。 なお、中期実行計画では、市民等との協働のまちづくりを進めるため、将来のまちづくりの方向性を市民目線で議論する『まちづくり市民委員会』や、若い世代がまちづくりに関心を持ち、未来のまちづくりに向けて提言する母体となる「(仮称)宇部未来センター(若者会議)」の創設を予定しています。
意見交換会 (1回目)	13	中期全体	—	宇部市の政策・施策に関する情報を市民と共有することが必要と思う。 例えば、目標を立てるときに市民から意見を聞いたらどうですか。	基本構想に対する具体的な取組を示す実行計画では、各施策(項目)の効果を計るために目標指標を設定しており、毎年度その進捗状況を確認し、公開しています。 また、中期実行計画の策定に当たっては、パブリックコメントや市民意見交換会を実施し、多くのご意見をいただいています。
意見交換会 (1回目)	14	中期全体	—	実行計画の目標はいつまでにどんなことをするのか、検証できるような形で表すと分かりやすい。	中期実行計画では、各施策ごとに目標指標を設定し、4年間の成果指標、目標値を明記しています。 また、毎年度目標値に対する進捗状況を確認し、公開しています。
意見交換会 (2回目)	15	中期全体	—	成果指標の進捗率をどう算出しているか。 (基準値の意味は)	なお、成果指標の進捗率は実績値を目標値で除して算出しています。 数値を低下させることを目標としている場合は、その起点を示すため、基準値を表示しています。

中期実行計画全体に対する意見

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
意見交換会 (2回目)	16	中期全体	—	まちづくりの合言葉を「元気」にした経緯を聞きたい	<p>第四次宇部市総合計画の基本構想では、まちづくりの主役は「市民」であることを改めて再確認し、市民一人ひとりの取組を地域に、そしてまち全体に広げていくため、その合言葉を「元気」としました。ひとが“元気”になり、地域が“元気”になることにより、まちが元気になり、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちを目指しています。</p> <p>中期実行計画においても、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちを目指し、“元気”を合言葉に各取組を進めるとともに、具体的な取組の方向性として、「地域経済の活性化」、「健康で心豊かなまちづくり」、「安心・安全なまちづくり」を掲げ、新しい施策体系として整理しています。</p> <p>なお、“元気”を直接測る指標はありませんが、実行計画の中で、各施策ごとに目標指標を定めており、これらを達成していくことで、総じて「元気」になると考えています。</p>
パブコメ (意見交換会)	17	中期全体	—	1 まちづくりに向けたコンセプト 「人が元気→地域が元気→まちが元気」→「誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち」字面では、大変心地よいテーマだとは思いますが、「元気」という一見簡単な言葉ではあるが、大変奥深い仏教用語を使っているのが分かりにくい面もある。もう少し具体的な表現を付け加えたらどうでしょうか。	
パブコメ (意見交換会)	18	中期全体	—	2 求める都市像 ここも、1と同じで「元気都市」という一見分かりやすそうな言葉でひとくくりになっているが、具体的なイメージを考えると分かりにくいのでは。	
意見交換会 (2回目)	19	中期全体	—	どういものさしで「元気」を測っているのか。 前期実行計画の4年間に宇部市は「元気」になったのか。 「元気」に大事な意味を込めていただきたい。	
パブコメ (意見交換会)	20	中期全体	—	元気の漢字をもう少し具体的に説明すべきではないでしょうか。	

中期実行計画全体に対する意見

分類（出所）	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ （意見交換会）	21	中期全体	—	市民と協働という観点でいうとメニューが多すぎる感がある。もう少し内容を精査し、重点的に取り組むべき事業を絞り込んだ方がよいと思う。 いくらおいしくても食べすぎるとお腹が痛くなるので・・・。	市の最上位計画である総合計画は、様々な分野において市が行う施策の全体計画であることから、内容も多岐にわたりますが、中でも重点的に取り組むべき事業を厳選したものを、総合計画の実行計画事業として位置付けています。
パブコメ （意見交換会）	22	中期全体	—	<p>■「前期実行計画の検証の方法」について 成果の目標と進捗率の表現方法が、直接的ではない（例、○○箇所、○○事業所など）ので、その成果や効果が理解できない、イメージできないと感じています。私の小学生の時代によく見かけた「やったこと作文」を読んでいる感じを受けてしまいます。この点は、百もご承知のことと存じます。 もっと直接的に成果や効果が理解できるメトリクス（評価のものさし）を用意して、検証し、次の計画に反映させるようにして欲しいと思います。民間企業では当たり前です。 PDCAサイクルの実践という視点からも、特に重要な点は、“C”の結果の評価です。これがいい加減であったり、ピンとはずれであれば、サイクルは目的・目標に向かって正しく、効果的に実践されることになりません。</p> <p>■ Future Centerというコンセプトを導入し活用する フューチャーセンターは、企業やNPO、自治体、政府など様々なセクターの人が集まり、社会課題解決や価値創造を目指して対話し実践していくコミュニティ活動です。北欧で生み出されました。 http://www.ecozzeria.jp/project/future.html</p> <p>■縦割り行政の積み上げではなく、しっかりしたビジョンをつくるために、こういったやり方を取り入れて、賢い宇部市民による賢い宇部市にしていきたいと思います。そうすれば、視察しにどんどん人がやって来るでしょう。</p>	基本構想に対する具体的な取組を示す実行計画では、各施策（項目）の成果・効果を計るために目標指標を設定し、その中で成果指標、目標値等を示しています。 成果指標の設定については、本来、施策目的に対する最終的な成果を示すべきですが、最終成果になればなるほど、市の施策以外の外部要因に左右されるようになり、市の取組だけでは、その効果が見えにくい場合が多くなります。 市の取り組みとあまりにもかけ離れた成果（最終成果）だけでは、具体的な取組の評価が難しくなるため、ある程度因果関係を持つ適度な成果（中間成果）や、事業の直接的な結果（事業指標）を設定する場合もあります。 なお、市政運営のPDCAサイクルを確立するための基礎資料として部・課方針書を毎年度作成し、計画的な市政運営に努めています。 （部・課方針書は、市ホームページで公開しています。）
パブコメ （メール）	23	中期全体	—	<p>障害施策が「安心」の中だけに記述されており、市民力や地域ブランドには見当たりません。 「安心」の進捗率表にある障害者の就労支援（雇用率）は、「市民力」のシルバー人材センター実績と対比できるものではないでしょうか？ 障害施策が「地域ブランド」に全く触れられていないのは、非常に残念です。総合計画の中には、明確に障害者就労の先進都市を目指す旨と記述されています。宇部市役所の取組みは、県内はもとより全国からも多くの視察団が来られるように、注目度はとても高いものがあると理解しています。</p>	第四次宇部市総合計画基本構想では、地域資源活用による“宇部ブランド”の創造・発信の取組の一つとして「障害者就労の先進都市を目指し、先進的な取組を更に発展させます。」と明記しています。 この考えに変わりはなく、中期実行計画においても、障害者の就労支援を「産業力強化・雇用対策」に関する施策として整理する一方、地域ブランドに関する取組の一つとして位置付けています。